平成２８年度　北海道・東北ブロック青少年国際交流を考える集い開催要綱

１．趣旨

内閣府及び北海道･東北ブロック内の地方公共団体等が実施した青少年国際交流事業の既参加者、国際交流に関心のある青少年等が、事後活動の情報交換を行うと共に、地域、職場等における事後活動の促進、国際交流及び国際親善についての研究協議を行うことにより、青少年の育成、国際交流及び国際親善の促進に寄与することを目的とする。

２．テーマ

「集（かだ）って語（かだ）って！
～地域資源を発掘し活用できる発想力豊かな人材育成に取り組もう～」

人口減少や地域活力減退という課題に直面する地方においては、地域を見つめなおし、 地域が持つ資源をより魅力的なものとして活用できる人材を増やすことが重要である。人との語り合いや異文化との出会いは、それまで身近で当たり前だったものに新たな価値を見出す気付きの機会となる。そのような機会が提供されることが地域社会の活性化につながると考える。

今回のブロック大会では、 こうした気付きを地域に与えている方々に焦点を当て、当たり前の存在である資源に新たな付加価値を造り出せる人材の育成について考える。基調講演には、仙北市の門脇光浩市長を迎え、 地方創生特区等の指定を受ける地域として、地域が持つ資源をいかに活用し、強みを発揮していくか、さらにそこで主体的に活躍できる人材をいかに育成するかを語っていただく。

さらに、分科会においては、 地域に根ざして国際交流を行う農家民宿経営者、秋田とバリをつなぐバリ舞踊家、“よそ者、若者、バカ者” として外との関わりで気付きを与えるきっかけを吹き込む大阪出身の起業家の３者にお願いしており、国際交流を通して変わった地域の人たちを例に、地域が持つ資源、魅力を共に考える。そして、多様なバックグラウンドを持つ参加者が、積極的に自分の地域の魅力について集い語ることで、地域活性化のための新たなアイデアを持ち帰り活動につなげることを目指す。

※「かだる」とは、人が集まって、ときには外の寒さから身を守るように寄り沿い語り合い、またひとり、またひとり増えて輪が広がっていく、という意味の秋田の方言である。

３．主催

内閣府
日本青年国際交流機構
（一財）青少年国際交流推進センター
秋田県青友会

４．後援

秋田県、仙北市、株式会社エフエム秋田

５．主管

平成２８年度「北海道・東北ブロック青少年国際交流を考える集い」実行委員会

６．期日

平成２８年１２月３日(土)～４日(日)

７．会場

あきた芸術村　温泉ゆぽぽ

（〒014-1192 秋田県仙北市田沢湖卒田字早稲田 430　TEL：0187-44-3333）

８．参加対象者

内閣府、北海道・東北ブロック内の地方公共団体等が実施した青少年国際交流事業の既参加者

国際交流に関心のある青少年等

９．問合せ先

北海道・東北ブロック青少年国際交流を考える集い実行委員長　木原　倫子

TEL:080-1840-6697　MAIL: iyeo.akita@gmail.com

１０．参加費

宿泊（全日程参加）　12,500 円（懇親会費込、1 泊 2 食）

（小学生以下　子供料金は要相談）

日帰り参加（懇親会費込）　6,500 円

講演会・分科会のみ参加　500 円

１１．参加申し込み

参加申込書に氏名、住所、性別、連絡先（電話番号等）、参加人数、懇親会参加の有無、宿泊の有無を明記のうえ、11 月 25 日(金)までに、下記まで郵送、Ｅ－ｍａｉｌ、ＦＡＸのいずれかでお申し込みください。

【申し込み先】　①郵送

〒010-0062　秋田県秋田市牛島東１丁目６－１７　エヨング宏枝方

秋田県青友会事務局　宛

②web フォーム　https://goo.gl/forms/YMYLEf52Wvspgimy1

③Ｅ－ｍａｉｌ　iyeo.akita@gmail.com

④ＦＡＸ　０１８－８３５－５５７４

【振込先】　秋田銀行　県庁支店　普通口座　３８０４８２

秋田県青友会　会長　エヨング　宏枝

１２．日程

第１日目　１２月３日（土）

12：30　～　13：30　国際交流事業関係者連絡会議

13：00　～　13：30　受付

13：45　～　14：00　　開会式

14：00　～　15：15　　基調講演「地方の魅力発信を考える」
（講師：秋田県仙北市長　門脇光浩）

15：15　～　15：30　　記念撮影

15：45　～　17：30　　分科会

① グリーンツーリズム～農村・農家の国際交流～農家の宿 星雪館代表 門脇富士美
農村の暮らしに価値を見出し、体験型の宿泊を通して多くの海外からのお客様をおもてなし。農村・農家での地域資源を活用した国際交流の取り組みを紹介する。

② 秋田とバリをつなぐ舞踊～異文化との出会いで見つけた新たな自分～
バリ舞踊家　阿部歩
バリ舞踊に魅せられた若者が、秋田県内でカフェやダンススクールを開きながら、バリの文化を紹介している。バリの文化との出会いをベースに豊かな発想力で秋田の人々にもたらすものについて考える。

③ Zero to One～秋田と世界をつなげる力～　トラベルデザイン株式会社社長　須崎裕
「よそ者・若者・バカ者」の立場から、旅行企画会社を立ち上げ秋田の活性化をはかる大阪出身の起業家。地域で活躍できる人材づくりのヒントを探る。

17：30　～　18：30　　チェックイン

18：30　～　20：30　　懇親会

第２日目　１２月４日（日）

7：30　～　9：00　　朝食・チェックアウト

9：00　～　11：30　　国際交流事業帰国報告・事後活動報告

11：30　～　11：45　　閉会式

11：45　～　16：00　　地域理解研修　（実費負担 4,600 円）
コンテストで最優秀賞に輝いた田沢湖ビールの工場見学と昼食の後、わらび座（※）のミュージカル「ハルらんらん♪」（女性初の国会議員となった秋田の女性「和崎ハル」を描いた内容）の観劇をします。

※わらび座はものづくり（多様性）、ひとづくり（人材発掘、人材育成）、まちづくり（新しい公共意識の創出）をもとに事業を行い、地域・社会に貢献している劇場です。

１３．実行委員会

実行委員長	木原倫子	第 25 回「世界青年の船」事業（2012 年）	秋田市
副実行委員長	金湖直子	第 27 回「世界青年の船」事業（2014 年）	由利本荘市
事務局長	金　陽子	第 23 回「世界青年の船」事業（2010 年）	秋田市
委員	古井祐子	第 2 回「世界青年の船」事業（1989 年）	秋田市
委員	門脇富士美	第 19 回「日本・韓国青年親善交流」（1997 年）	仙北市
委員	エヨング宏枝	第 15 回「世界青年の船」事業（2002 年）	秋田市
委員	吉田智絵	第 24 回「世界青年の船」事業（2011 年）	男鹿市
委員	齋藤豊太	第 27 回「世界青年の船」事業（2014 年）	潟上市